

國防問題を中心とした英政府内意見對立

ベルシヤ陸相結局辭職か

不狀政

(ロンドン廿日)ホーベルシヤ陸相は廿日午後、バッキンガム宮殿に伺候し皇帝ジョージ六世陛下に拜謁した。が國防問題をめぐり英政府の閣内對立が傳へられてゐる折からベルシヤ陸相の参内は麻状不安を煽つてゐる。右辯説の内容は判明せぬが一部では辞表拂呈のためも傳へられる。又國防強化策に關する獨自政策を言上し直接皇帝にその苦衷を訴へたものともいはれる。

チエツコ國に對し

失地回復を要求

洪民族問題解決を堅持す

(アタベスト二十日)ハンガリ

リー政府のルチニア地方併合

要求と關聯して中歐政局が微

妙な動きを見せてゐる折柄、が右はハンガリー政府がミ

チアノ伊太利外相のアタベス

ニンヘン協定並びにウイーン協

交政策に重大な影響を與へる

ものとして注目されてゐるが、

ハンガリー外相スザキ氏は二

十日夜チアノ外相招待の晩餐

會席の意旨表示も見られてない

方針を聞明して

ハンガリー政府としては歐

洲平和の確立はあくまで民

主の意旨表示も見られてない

方針を聞明して

<p

